

事務所 伊那市西町5016-2 Tel(72)0077 例会日 毎週木曜日 例会場 くぬぎの杜 Tel(78)1121
 会長 藤澤秀敬 幹事 平澤泰斗 会報委員長 唐木 章 第2757回例会 2016.10.16 No.1420



Rotary Serving Humanity

人類に奉仕するロータリー

2016-17年度 RI 会長テーマ

2016-2017年度 地区大会

於：軽井沢プリンスホテル ウェスト

10月15日(土)16日(日)国際ロータリー第2600地区2016-2017年度地区大会が佐久RC原拓男ガバナーの指揮の下軽井沢RCホストで、軽井沢プリンスホテルウェストにおいて開催されました。

16日早朝伊那中央RCと共に大型バスで軽井沢へ向かいました。伊那RCは12名が参加しました。

ガバナー挨拶 原 拓男ガバナー

本年度は、地元軽井沢RCにホストをお願いし、22年ぶりの軽井沢での地区大会開催となりました。この時期は、軽井沢の最も良い季節でもありますので、大会に参加して戴いた多くの皆様に軽井沢を満喫していただければ幸いです。

記念講演は、テレビ出演や多くの経済関係の著書などでおなじみの経済アナリスト森永卓郎さんをお招きし「日本の未来を明るくするヒント」と題してお話を戴きますが、森永さん独特のユニークで楽しいお話が聞かれる事でしょう。そして我々ロータリアンにとって重要な、人類に奉仕できるヒントを戴ける事と期待しています。

さて今年度は、ロータリー財団設立100周年という正に記念すべき年度です。財団100年の歴史は、1917年アメリカ、アトランタで開催された第8回ロータリー年次大会で、会長アーチ・クランフの「世界で良い事をする為に基金を作るのが極めて適切だと思われる」という言葉から始まり、100年間で世界中の何千という地域社会に30億ドルを提供して来ました。中でも二人の日本人ロータリアンが提唱したポリオの撲滅は、本当に「あと少し」となりました。私たちはこの財団100周年という記念すべき年に、自分自身が



ロータリアンである事に誇りと自覚を持ち、世界中のロータリアンと共に財団に対し過去最高額の寄付をして人類に奉仕しようではありませんか。

来賓祝辞 長野県知事阿部守一様、軽井沢町長藤巻進様、佐久市長柳田清二様

RI 会長メッセージ伝達・RI 現状報告

RI 会長代理 金杉 誠様 (第2590地区 横浜西RC)



今年度の RI 会長のテーマは皆様ご承知のように「人類に奉仕するロータリー」であります。中でもジャーム会長はポリオ撲滅について「懸命に努力していかなければいけない」と強調しております。またポリオかと思われる方も多いかもかもしれませんが、実を言いますとこの2~3年の進展は誠に目覚ましいものがあります。昨年度は全世界でわずか74件、前年の5分の1に減り、今年度も昨年の半分以下のペースに減っています。何よりもナイジェリアで発生が無くなってからもう既に2年経過し、あと1年発生が無ければアフリカ大陸全体が「ポリオフリー」

として WHO から認定をされます。日本人のロータリアンが種を播いたポリオ撲滅運動が全世界で達成される、その歴史的瞬間が着実に近づいてきているのだという事に、私たちはもっともっと誇りを持ち、その目標の為に執念を持って努力していかなければいけません。因みにジャーム会長はポリオ撲滅の為に「ロータリーの 2 億ドルチャレンジ」を指揮し、目標を大きく上回って達成した功績によって、「変化の推進者」としてホワイトハウスで表彰をされたこともあるそうで、正にロータリー財団 100 周年を迎えるにふさわしい RI 会長であります。

また今年度はこの 4 月に行われた規定審議会で、クラブ例会と出席についてクラブに大幅な柔軟性を認める、大きな変更が加えられた最初の年でもあります。これは停滞が続いている会員数を増やすために、国際ロータリーが RI 戦略計画の考え方に沿って進めていた施策が実ったものとも言えそうです。ジャーム会長も今の世の中は「仕事とロータリーの両立はかつてないほど難しく、数十年前にロータリーの成長を促したモデルは、今や成長を妨げている要因の一つとなっています。」と述べており、時代のニーズに合わせて例会時間やクラブの在り方に柔軟性を持たせ、入会候補者の幅を広げる画期的な決定であると言っております。それと同時に会員増強の壁を取ることが出来るのは皆様方クラブの会員一人一人しかないので。このような大きな変更に対して皆様方がどのようにお考えになるか、その意見の集約が一番大切な事です。RI 会長といえども、もちろんガバナーといえども、皆様方に皆様方のロータリークラブの在り方について命令する権利はありません。皆様方だけが「クラブはどうあるべきなのか、より発展し、影響力を持ち続けるためには何が必要なのか」を決める事が出来ます。そしてそれを戦略計画としてまとめることが出来るのも皆様方次第です。私もこの地区大会を通じて皆様方の意欲を高め、少しでもロータリーへの理解を深め、行動を起こす為に、微力ながらそのお手伝い出来るように努める所存であります。



大会決議 委員長 中川博司パストガバナー

1. 国際ロータリーのテーマを推進する件
2. RI 会長代理ご夫妻に対する感謝の件
3. 直前ガバナー望月宗敬氏に対する感謝の件
4. 2017 年国際大会への参加を推進する件
5. 本大会の記念事業に対する件 (1. 長野県への寄付 2. 軽井沢町、佐久市への寄付 3. 米山記念奨学会への寄付 4. ロータリー財団への寄付)
6. 2019 年規定審議会代表議員・補欠議員に対する件
代表議員宮坂宥洪氏、補欠議員中川博司氏
7. 本大会のホストクラブに対する感謝の件
8. 次期地区大会開催に関する件



ロータリー財団 100 周年報告

ロータリー財団委員会委員長 都筑文男 PDG

ロータリー財団は、1917 年米国アトランタで開催された国際大会で会長アーチ・C・クランプが「世界でよいことをする」ための基金を提案し創立されました。

ミズーリ州カンザスシティ RC が 26 ドル 50 セントを寄付し恒久基金の実現への貴重な第一歩になりました。この寄付をきっかけにクランプ会長は生涯をかけて「よいことをする」ための力を築き上げました。

そして、財団は資産と活動の両方において飛躍的な成長を遂げました。世界各地に支援の手を伸ばしながら、重要な多くの問題に取り組む大小さまざまなプロジェクトを立ち上げました。これらはすべて、ロータリアンからの温かく寛大なご支援により実現したものです。豊かな資金を蓄えたロータリー財団は、それまで以上に規模の大きなプロジェクトを実現できるようになり、国レベルの識字率向上プログラム、未来の平和構築者の育成 (ロータリー平和フェロー)、ポリオ撲滅など、世界に多大な影響を与えることになりました。

第 2600 地区も 2013-14 年度より始まった「未来の夢計画」による地区補助金プロジェクト、グローバル補助金奨学生など多くの奉仕プロジェクトを行ってきました。100 周年を機に地区大会で 3 年間のプロジェクトの一部をご紹介します。今後、さらに多くの皆さんに人道的分野や教育面での支援活動を続けて参ります。

ガバナーエレクト紹介 原 拓男ガバナー

関 邦則様 (長野 RC)

職業：(有)関建築+まち研究室代表取締役

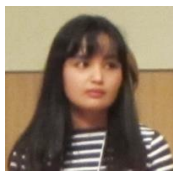
次期ホストクラブ紹介 原 拓男ガバナー

ホストクラブ：長野東ロータリークラブ

開催日：2017年10月14日(土)・15日(日)

大会会場：ホテル国際 21

青少年アワー 伊那 RAC 布留川深志会長、宮澤大雅さん、米山奨学生アルズグリさんが参加。



アトラクション

信州御代田 龍神太鼓保存会鼓響の皆さんによる龍神太鼓の演奏



記念講演 講師 森永卓郎氏

演題「日本の未来を明るくするヒント」



皆さんこんにちは。私は最近ライザップで話題になっていますが、1年前に有るきっかけでライザップを始める事になり体重が約 20kg 減りました。なぜライザップをする事になったかと言いますと、「オールスター感謝祭」という番組が有りまして、この番組の中にライザップ CM 出演権を賭けたコンテストが有りこれに参加した結果、みごと出演権を獲得してしまいました。ライザップで何をしたかという、ひとつは徹底した糖質制限、炭水化物禁止、根菜類禁止で食べて良いのは、薬物野菜とたんぱく質を取ることでした。もうひとつは、50 分間の筋肉トレーニングをする訳ですが、これには専属トレーナーが付き、食べる物の管理からトレーニングのレベルまで厳しくチェックされました。野菜ジュースが良いと思って飲んだら「これは糖質の塊だ」と言われ、トレーニングについては筋肉を鍛える為に自分の限界値よりも少し上回る運動をやらされたお陰で、2 ヶ月半で急激に体重を減らす事が出来ました。

それはそれでここから経済の話をして。日本の経済が、最悪の状態を迎えたのは今から 4 年前で民主党政権の末期の頃です。不景気の原因は、とてつもない円高 (1 ドル 79 円) のお陰で製造業がやっていけなくなってしまったからです。輸出すればするほど赤字になってしまう現象です。その後、自民党が政権を取りアベノミクスという 3 本の矢の政策のひとつ金融緩和政策がまた大きな影響を与えました。その政策により日本の経済は立ち直りを見せ、2013 年は好景気になりました。しかし 2014 年は、前年比マイナス 0.9% の成長率になり、また落ち込んでしまいました。その原因は何かと言うと、消費税を引き上げたからです。

それではこれからの日本の未来を明るくするには、どうすれば良いのか？それはイタリアを目指す事です。一般的にはイタリアは財政や経済はボロボロだと言われているのですが、そんなことはまったく有りません。借金は多いが財政は黒字なんです。そして、中国と価格競争をするのではなく、競合しない商品をつくっているのです。競合しない商品とは何か？それは、アートです。アートとは何か？岡本太郎先生の言葉で「作品を見た瞬間 何だこれは？」と思うんだけど、一歩そこから離れると気になって気になってしょうがない物がアート！だから美しいだけの物はアートになり得ない。」とっています。アートを創り出す方法は、まず作り手がワクワクドキドキしなければ、買い手がワクワクドキドキする訳が有りません。イタリア的に、「リーマンショックで会社は低迷しているが、気にする事はない。パーと行こう。」という気持ちで、会社をラテンの雰囲気にしちゃおう。